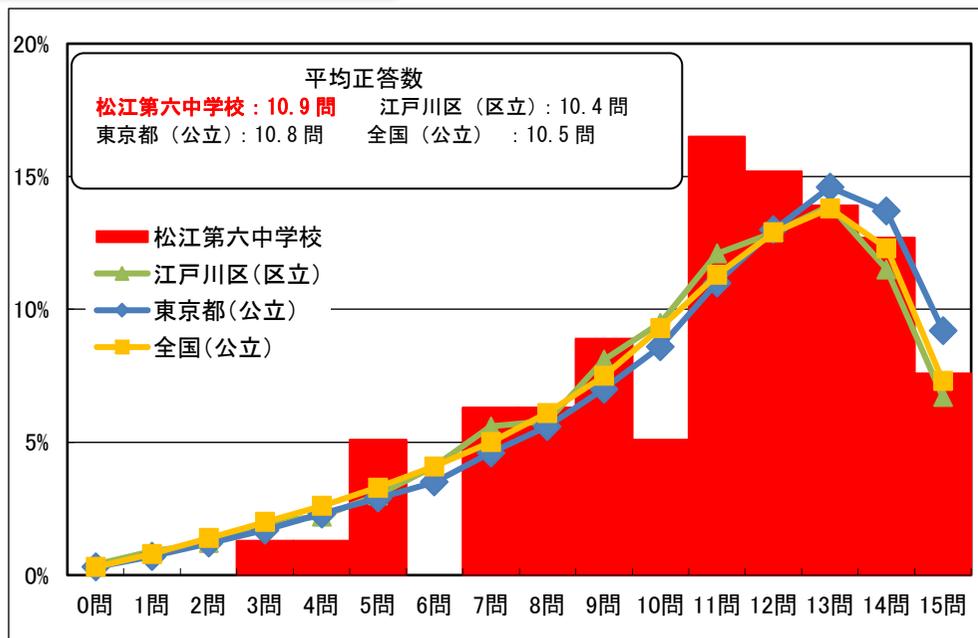
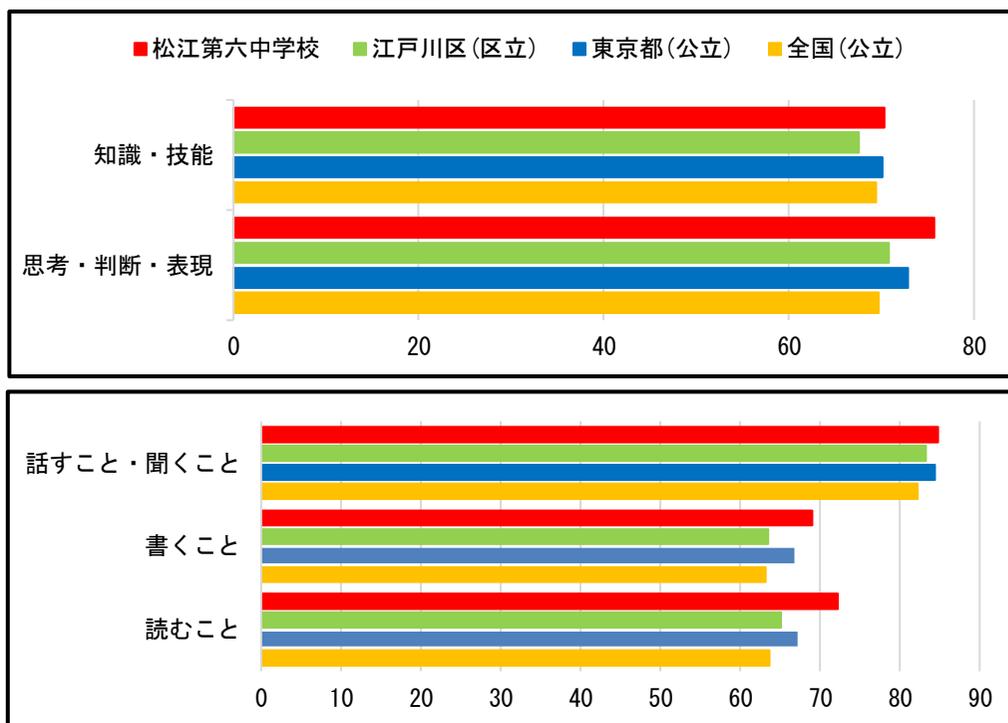


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 松江第六中学校

## 正答数分布



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 13~15問	B層 12問	C層 9~11問	D層 0~8問
松江第六中学校	34.2	15.2	30.5	20.3
江戸川区(区立)	32.1	12.9	29.7	25.3
東京都(公立)	37.5	13.0	26.6	22.9
全国(公立)	33.4	12.9	28.1	25.6

## 【平均正答率の差】

松江第六中学校	73%
江戸川区(区立)	69%
東京都(公立)	72%
全国(公立)	69.8%
都との差	1ポイント

## 【分析結果と授業改善に向けて】

- ・東京都(公立)と比較すると平均正答率は1ポイント上回っており、観点別および領域別のいずれにおいても高い数値を示している。特に「読むこと」が大きく上回っている一方、「知識・技能」や「話すこと・聞くこと」はほぼ同程度となっている。
- ・漢字や文法の小テストなどで引き続き基礎の定着を図るとともに、弁論大会をはじめとして、自分の意見をしっかり相手に伝える場面を意識的に設定していく。

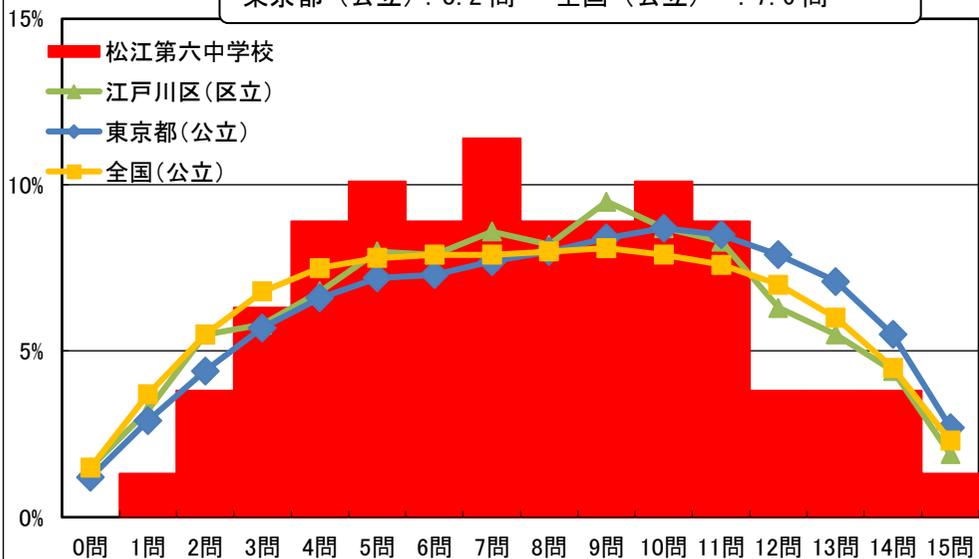
四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 松江第六中学校

## 正答数分布

平均正答数

松江第六中学校 : 7.6 問  
江戸川区 (区立) : 7.7 問  
東京都 (公立) : 8.2 問  
全国 (公立) : 7.6 問

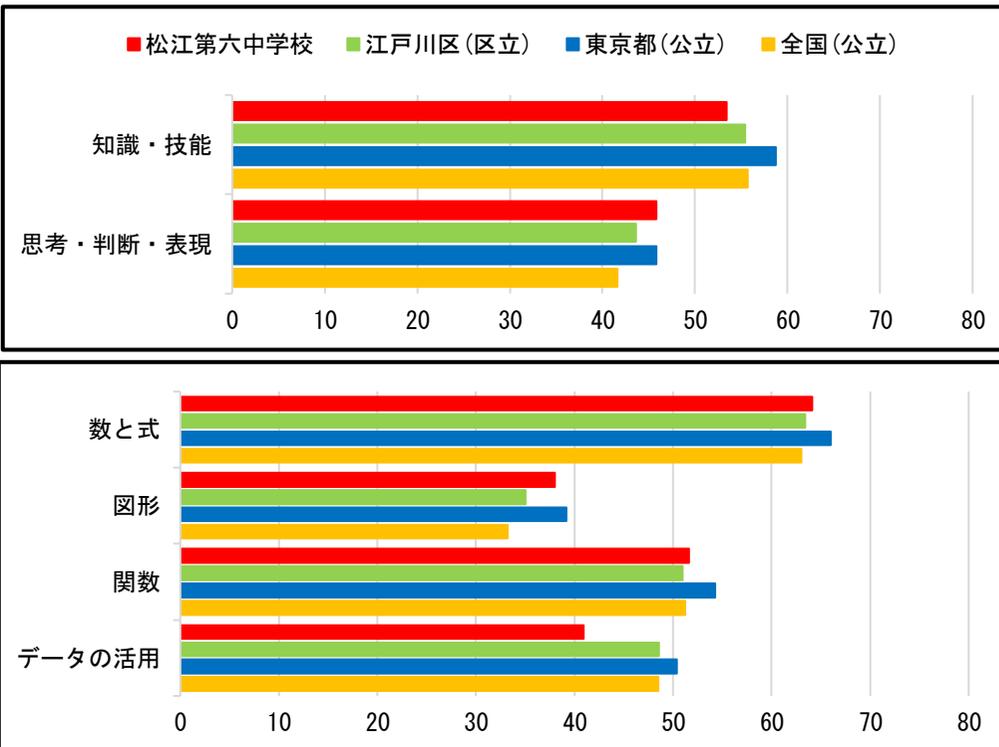


<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上位 ← 下位			
	A層 11~15 問	B層 8~10 問	C層 5~7 問	D層 0~4 問
松江第六中学校	21.6	27.9	30.4	20.3
江戸川区 (区立)	26.4	26.4	24.5	22.7
東京都 (公立)	31.7	25.1	22.2	21.0
全国 (公立)	27.4	24.0	23.6	25.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

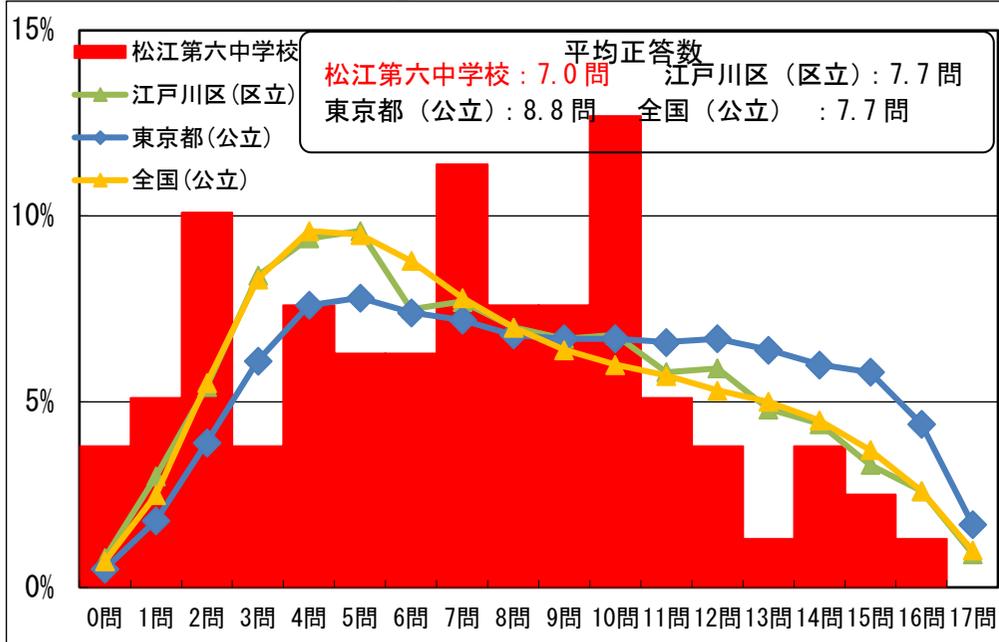
松江第六中学校	51%
江戸川区 (区立)	51%
東京都 (公立)	54%
全国 (公立)	51.0%
都との差	-3ポイント

### 【分析結果と授業改善に向けて】

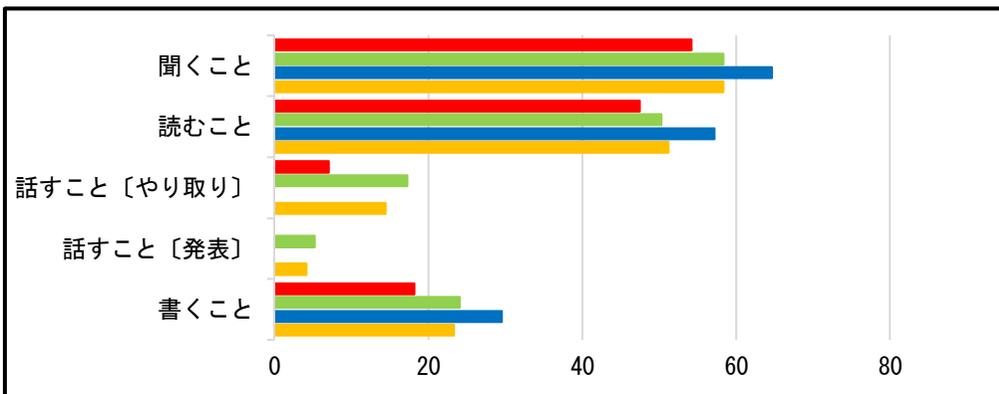
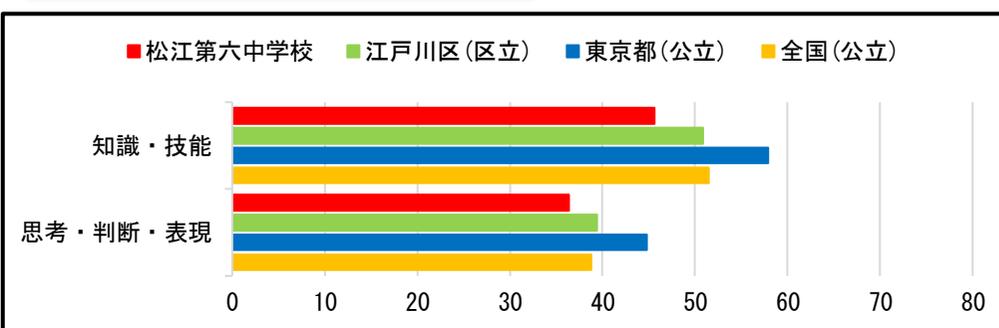
- ・東京都(公立)と比較すると平均正答率は3ポイント下回っており、特に観点別では「知識・技能」が、領域別では「データの活用」や「関数」が下回っている。
- ・授業での基礎事項の確認や、家庭でのドリルパークの活用などを通して、知識の定着を図るとともに、特に「関数」や「データの活用」の領域では、生徒同士で教え合う場面を意識的に設定していく。

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】 松江第六中学校

## 正答数分布



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

英語	上位 ← → 下位			
	A層 12~17問	B層 9~11問	C層 5~8問	D層 0~4問
松江第六中学校	12.7	25.4	31.6	30.4
江戸川区 (区立)	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都 (公立)	31.0	20.0	29.2	19.8
全国 (公立)	22.1	18.1	33.1	26.7

## 【平均正答率の差】

松江第六中学校	41%
江戸川区 (区立)	45%
東京都 (公立)	52%
全国 (公立)	45.6%
都との差	-11ポイント

%

## 【分析結果と授業改善に向けて】

・東京都 (公立) と比較すると平均正答率は11ポイント下回っており、特に観点別では「知識・技能」が、領域別では「書くこと」や「聞くこと」、「話すこと」が下回っている。

・毎回の授業でのリスニング反復練習や、家庭でのドリルパークの活用などを通して、知識の定着を図るとともに、スピーキングとライティングのバランスを調整しながら授業を進めていく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。